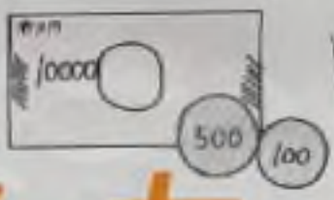
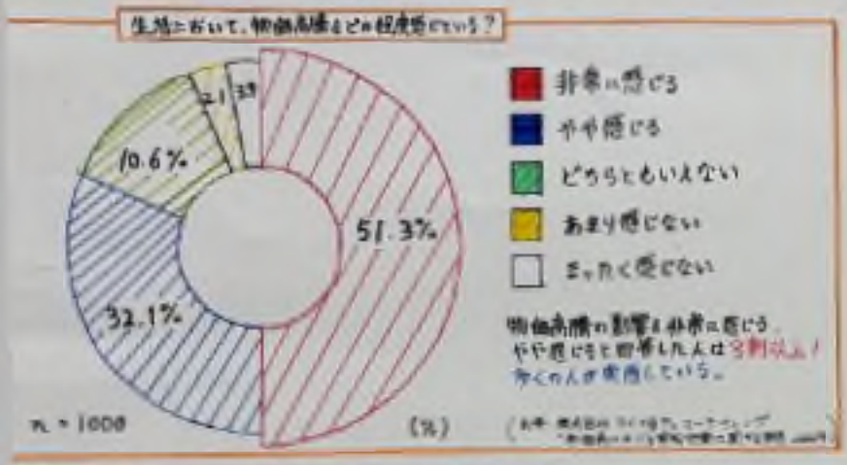
財布が泣いてる？

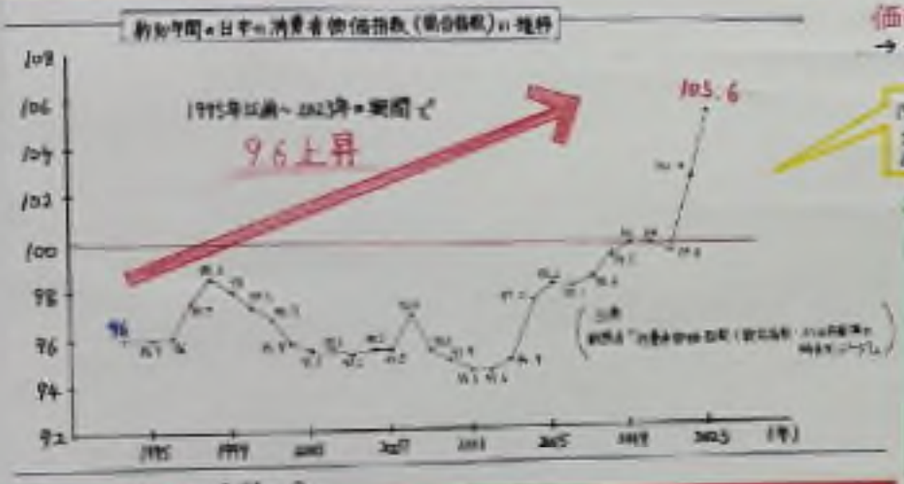




インフレによる物価高と賃金







価格指数（物価指数）とは…
→ 生活がする物価の変動をある基準の年（通常は100）をベースとして比較して数値化したもの。

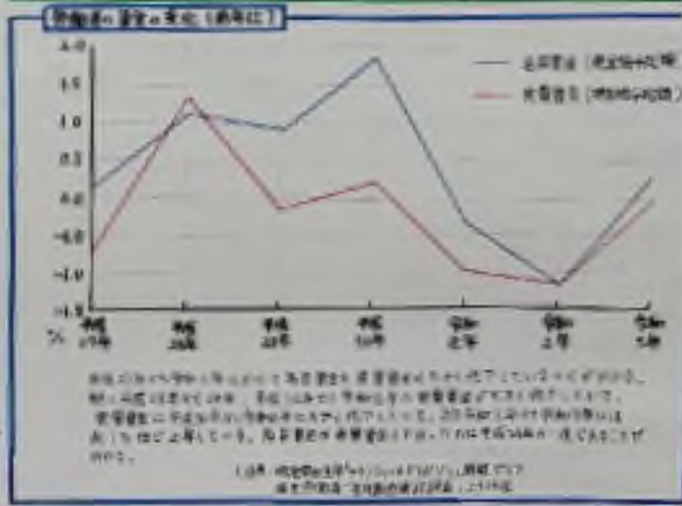
1995年以降の数値を見てみると、物価が上昇した年と、その前年から物価が下がった年があることがわかる。しかし2022年頃から急激に上昇し始めて2025年には105.6となり1995～2025年の約30年間で最大の数値を記録した。



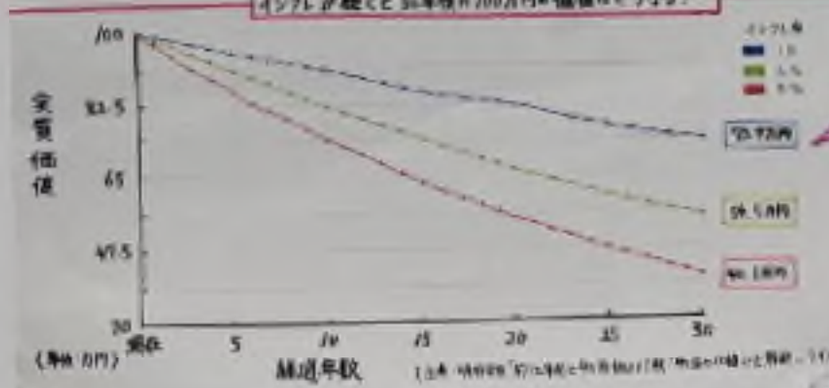
インフレの影響は？

インフレとは…
→ 様々サービスの価格（物価）が継続して上昇すること。





インフレが続くと30年後の100万円の価値はどうなる？



インフレ率が1%低下すると約30万円の実質価値が失われ、3%低下時と約14万円、5%低下時と約29万円の差が生じます。つまり同じ月収のお金を使うとしてもインフレ率が大きく上昇した世の中ではインフレ率が低い世の中と比べ約30年後には購入できる商品やサービスの量が大きく減ってしまうということである。

まとめ

今回調べて日常生活の中で主な食品や日用品の値上がりを実感していることが分かり、実際のところでは物価や賃金の伸びが鈍化しているということも分かった。また賃金が上がっているとしても物価の上昇に追いつかなければ、実際の暮らしでお金の価値は変化したと言えない。インフレ率の上昇の特徴により、一定期間でお金の価値が変化するのでインフレと物価の変化は賃金は互いに関係しあうことが分かった。これから物価や賃金がどのように変化していくのか、ニュースなどを通じて注目していきたい。